

正答表 国語

1	
1	いど(む)(む)
2	こうてん
3	たび
4	こうろう
5	せいいつ

2点×5

2	
1	挨拶
2	組閣
3	磁器
4	盛(る)
5	直情径行

2点×5

3						
(問6)	(問5)	(問4)		(問3)	(問2)	(問1)
ウ	ウ	緊	思	ア	イ	エ
ウ	ウ	張	い	ア	イ	エ
ウ	ウ	感	も	ア	イ	エ
ウ	ウ	を	よ	ア	イ	エ
ウ	ウ	解	ら	ア	イ	エ
ウ	ウ	き	ず	ア	イ	エ
ウ	ウ	放	腹	ア	イ	エ
ウ	ウ	っ	が	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	鳴	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	っ	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	た	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	お	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	か	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	し	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	さ	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	が	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	そ	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	の	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	場	ア	イ	エ
ウ	ウ	た	の	ア	イ	エ

30 から。 4点

4							
(問6)	(問5)	(問4)			(問3)	(問2)	(問1)
ウ	エ	の	存	中	イ	ア	エ
ウ	エ	発	の	国	イ	ア	エ
ウ	エ	話	自	の	イ	ア	エ
ウ	エ	性	分	発	イ	ア	エ
ウ	エ	に	た	音	イ	ア	エ
ウ	エ	合	ち	に	イ	ア	エ
ウ	エ	わ	の	な	イ	ア	エ
ウ	エ	せ	オ	ら	イ	ア	エ
ウ	エ	て	ラ	っ	イ	ア	エ
ウ	エ	読	ル	て	イ	ア	エ
ウ	エ	み	・	読	イ	ア	エ
ウ	エ	下	コ	む	イ	ア	エ
ウ	エ	し	ミ	だ	イ	ア	エ
ウ	エ	た	ユ	け	イ	ア	エ
ウ	エ	と	ニ	で	イ	ア	エ
ウ	エ	い	ケ	は	イ	ア	エ
ウ	エ	う	丨	な	イ	ア	エ
ウ	エ	こ	シ	く	イ	ア	エ
ウ	エ	と	ヨ	、	イ	ア	エ
ウ	エ	。	ン	既	イ	ア	エ

60

5				
(問5)	(問4)	(問3)	(問2)	(問1)
エ	ア	ウ	ク	イ
4点	4点	4点	4点	4点

4									
(問7)									
入	ら	に	る	に	化		し	学	
れ	し	浴	。	な	が	今	い	ん	も
つ	さ	衣	し	っ	日	グ	こ	で	と
つ	を	ぐ	か	て	本	ロ	と	独	も
伝	感	ら	し	お	に	丨	で	自	と
統	じ	い	、	り	入	パ	あ	の	文
を	る	し	日	、	っ	ル	る	文	字
守	時	か	本	そ	て	時	と	化	を
る	で	着	に	れ	き	代	思	を	持
生	も	る	は	が	て	を	う	発	た
活	あ	こ	和	当	い	迎	。	展	な
が	る	と	服	た	る	え		さ	か
大	。	は	の	り	。	て		せ	っ
切	よ	な	伝	前	服	多		た	た
だ	い	い	統	に	装	様		こ	日
と	も	が	が	も	は	な		と	本
考	の	、	あ	な	ほ	外		は	が
え	は	日	る	っ	ぼ	国		素	中
る	取	本	。	て	洋	の		晴	国
。	り	人	夏	い	装	文		ら	に

1
2
点

1		
[問 1]	$5 - 2\sqrt{6}$	5
[問 2]	$\frac{1 \pm \sqrt{7}}{2}$	5
[問 3]	$a = 2, b = 3$	5
[問 4]	$\frac{7}{18}$	5
[問 5]		5

2		
[問 1]	(1) $-\frac{7}{4} \leq m \leq -1$	5
	(2) 【途中の式や計算など】	12

△ABCと△ADCの面積比が6:1であるからBD:DC=5:1となる。
 x軸上の点で、点B、点D、点Cとx座標がそれぞれ等しい点を点B'、点D'、点C'とするとB'D':D'C'=5:1である。
 B'C'=3よりB'D'=5/2であるから点D'のx座標は3/2よって点Dのx座標は3/2
 y軸上の点で、点B、点D、点Cとy座標がそれぞれ等しい点を点B''、点D'',点C''とするとB''D'':D''C''=5:1である。
 B''C''=3/4よりB''D''=5/8であるから点D''のy座標は7/8よって点Dのy座標は7/8
 すなわち点Dの座標は(3/2, 7/8)
 直線gの傾きは、xの増加量が3/2 - (-6) = 15/2, yの増加量が7/8 - 9 = -65/8であるから、
 $-\frac{65}{8} \div \frac{15}{2} = -\frac{13}{12}$
 直線gの式は、 $y = -\frac{13}{12}x + b$ と表すことができる。
 点Aを通るから $9 = -\frac{13}{12} \times (-6) + b$ よって $b = \frac{5}{2}$
 したがって、直線gの式は、 $y = -\frac{13}{12}x + \frac{5}{2}$

(答え) $y = -\frac{13}{12}x + \frac{5}{2}$

[問 2]	点F (2 , 6)	点P (4 , 4)	8
-------	--------------	--------------	---

3		
[問 1]	(1) 【証明】	10

△AEFと△AECについて、仮定より、
 $\angle EAF = \angle EAC \dots \textcircled{1}$
 線分AEと線分FCは垂直であるから、
 $\angle AEF = \angle AEC = 90^\circ \dots \textcircled{2}$
 また、共通な辺であるから、
 $AE = AE \dots \textcircled{3}$
 $\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$ より、
 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle AEF \cong \triangle AEC$
 したがって、
 $CE = EF \dots \textcircled{4}$
 また、点Mは辺BCの中点であるから、
 $CM = MB \dots \textcircled{5}$
 $\textcircled{4}, \textcircled{5}$ より、△CFBにおいて、
 点E、Mはそれぞれ辺CF、CBの中点であるから、
 $EM \parallel FB$
 よって、
 $EM \parallel AB$

[問 1]	(2) AE : ED = 11 : 3	7
[問 2]	$S : T = 11 : 52$	8

4		
[問 1]	K = 9, t = 8	8
[問 2]	【途中の式や計算など】	10

△EMNの面積をSとする。
 a秒後の△EP'Q'の面積をS'とすると、 $1 \leq a \leq 5$ であり、
 $\triangle EP'Q' \sim \triangle EMN$ より
 $S' = \frac{a^2}{25} S \dots \textcircled{1}$
 b秒後の△EP''Q''の面積をS''とする。
 $5 \leq b \leq 9$ であり、四角形EMCNはひし形であるから、
 $\triangle EP''Q''$ の底辺と高さは、△EMNの底辺と高さのそれぞれ $\frac{10-b}{5}$ 倍と $\frac{b}{5}$ 倍である。よって
 $S'' = \frac{10-b}{5} \times \frac{b}{5} \times S = \frac{b(10-b)}{25} S \dots \textcircled{2}$
 $\textcircled{1}, \textcircled{2}$ より
 a = 1, 2, 3, 4, 5 のときの S',
 b = 5, 6, 7, 8, 9 のときの S'' を求める。

a	1	2	3	4	5
S'	1/25 S	4/25 S	9/25 S	16/25 S	S

b	5	6	7	8	9
S''	S	24/25 S	21/25 S	16/25 S	9/25 S

ここで、aとbは異なる自然数であることから表から、 $(a, b) = (3, 9), (4, 8)$

(答え) $(a, b) = (3, 9), (4, 8)$

[問 3]	4.5 秒後	7
-------	--------	---

